

製品名: PFK-2 car ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16012**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	58kDa

抗原情報

遺伝子名	PFKFB2
別名	PFKFB2; 6-phosphofructo-2-kinase/fructose-2; 6-bisphosphatase 2; 6PF-2-K/Fru-2,6-P2ase 2; PFK/FBPase 2; 6PF-2-K/Fru-2,6-P2ase heart-type isozyme
遺伝子 ID	5208.0
SwissProt ID	O60825
免疫原	抗血清はヒト PFKFB2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 451-500

背景

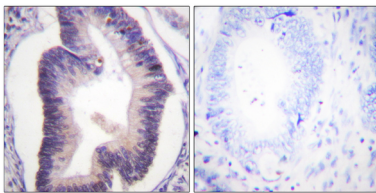
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物における解糖系を制御する調節分子であるフルクトース -2,6-ビスリン酸の

合成と分解の両方に関与しています。コードされるタンパク質は、フルクトース-2,6-ビスリン酸の合成を触媒する 6-ホスホフルクト-2-キナーゼ活性と、フルクトース-2,6-ビスリン酸の分解を触媒するフルクトース-2,6-ビスホスファターゼ活性を有しています。このタンパク質は心臓におけるフルクトース-2,6-ビスリン酸濃度を調節する一方、別の遺伝子によってコードされる関連酵素は肝臓および筋肉におけるフルクトース-2,6-ビスリン酸濃度を調節します。この酵素はホモ二量体として機能します。この遺伝子には、2つの異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: $ATP + D\text{-フルクトース } 6\text{-リン酸} = ADP + \beta\text{-D-フルクトース } 2,6\text{-ビスリン酸}$ 。触媒活性: $\beta\text{-D-フルクトース } 2,6\text{-ビスリン酸} + H(2)O = D\text{-フルクトース } 6\text{-リン酸} + \text{リン酸}$ 。酵素調節: リン酸化はキナーゼ活性の活性化をもたらす。機能: フルクトース 2,6-ビスリン酸の合成と分解。類似性: C 末端領域に存在。ホスホグリセリン酸ムターゼファミリーに属する。サブユニット: ホモ二量体。組織特異性: 心臓。 ,

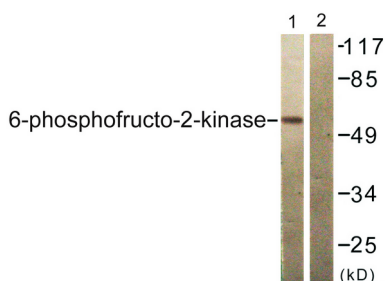
研究分野

フルクトースおよびマンノースの代謝;

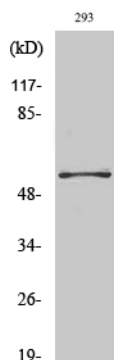
画像データ



PFKFB2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



PFKFB2 抗体を用いた、ヒートショック処理した 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PFK-2 car ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析